

週間漁海況情報 2025年第10号

令和7年3月11日発行

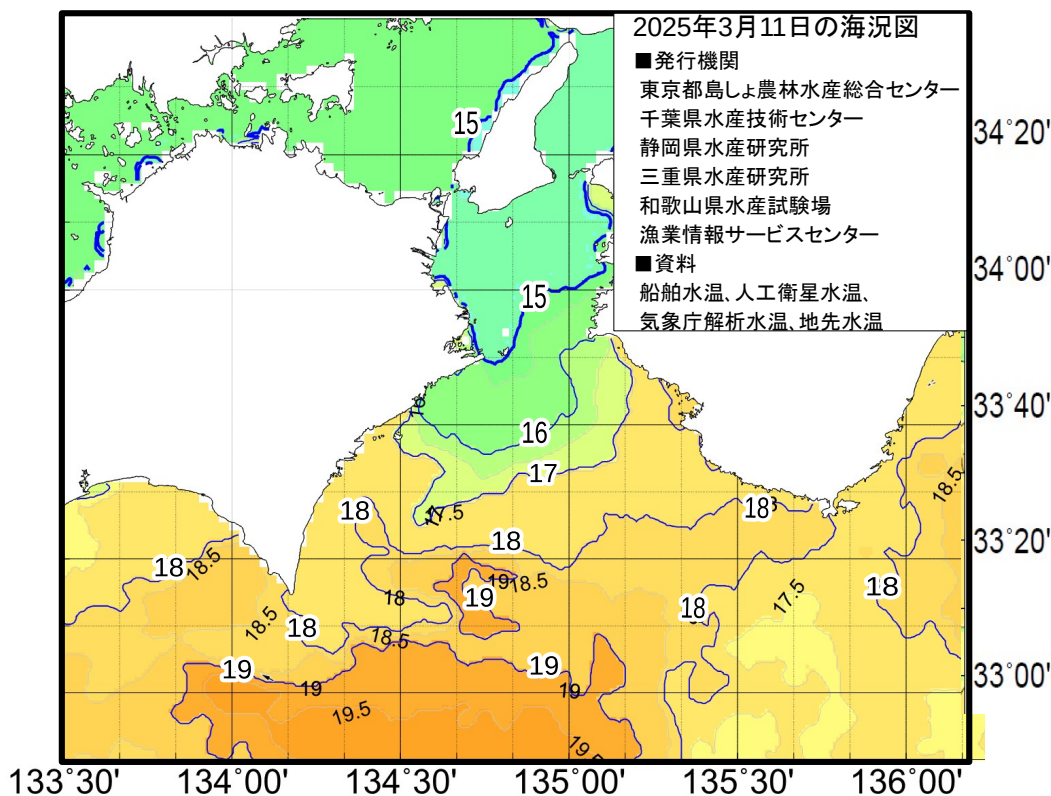
海況

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖55マイル付近、潮岬沖150マイル以上を流れ、室戸岬で「離岸」、潮岬で「著しく離岸」している。

黒潮の表面水温は18～20℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘で14、紀伊水道で14～15、海部沿岸で15～17℃台となっている。



※黒潮の離接岸の表現

室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸：45～65NM 著しく離岸：65NM～
潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：26～56NM 離岸：56～86NM 著しく離岸：86NM～

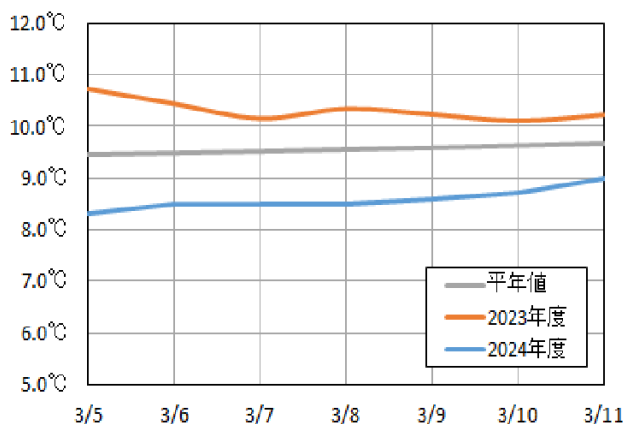
※図中の破線は黒潮の北縁を示しています（このところ、著しい離岸が続いているため、表示範囲より南の場合が多い）。

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

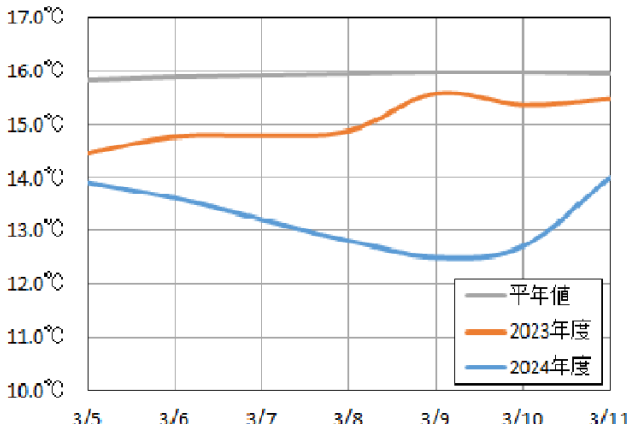
2. 地先水温（3月5日～3月11日）

鳴門地区の水温は、8.3～9.0℃で「やや低め」、浅川地区は、12.5～14.0℃で「かなり低め」から「低め」で推移。鳴門と浅川地区の水温差は、3.9～5.6℃だった。

鳴門地区



浅川地区



※水温の高低 平年並み：平年値±0.5℃未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満、かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 1984年～2022年（鳴門）、2018年～2022年（浅川）の平滑平均値（いずれも日平均水温を使用）

3. 週間予報（3月12日～3月18日）

黒潮は、室戸岬沖、潮岬沖とも「離岸」して推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区では「やや低め」、浅川地区では「低め」で推移する見込み。

漁況

(3月3日～3月9日)

1. 紀伊水道（標本漁協：4）

延縄では、あまだい類が減って0.3ト、ブリが大きく減ってめじろ級主体に0.2ト水揚げされた。
 底びき網では、コウイカが大きく減って大主体に0.6ト、えそ類が大きく減って0.3ト、
 ハモが中主体に0.2ト、いとより類が大きく減って0.2ト水揚げされた。
 建網では、メジナが大きく減って0.3ト、タカノハダイが減って0.2ト水揚げされた。
 小型定置網では、マアジが大きく減って0.3ト、
 すずき類が大きく減って特大主体に0.2ト水揚げされた。

2. 海部沿岸（標本漁協：4）

小型定置網では、すずき類が大きく増えて0.2ト水揚げされた。
 大型定置網では、ブリが大きく増えて2.8ト、マアジが増えて0.2ト、
 ウスバハギが大きく増えて大主体に0.2ト、イサキが大きく増えて特大主体に0.2ト水揚げされた。

漁獲量集計表（漁獲量が0.15トン以上のものを抜粋）

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	延縄	18	あまだい類	296	16		↘
		9	ブリ	170	19	めじろ級主体	↘↘
	底びき網	9	コウイカ	580	64	大主体	↘↘
		9	えそ類	280	31		↘↘
		9	ハモ	200	22	中主体	→
		9	いとより類	157	17		↘↘
	建網	28	メジナ	294	11		↘↘
		25	タカノハダイ	181	7		↘
	小型定置網	6	マアジ	285	47		↘↘
		5	すずき類	163	33	特大主体	↘↘
海部沿岸	小型定置網	17	すずき類	158	9		↗↗
	大型定置網	6	ブリ	2,832	472		↗↗
		6	マアジ	167	28		↗
		6	ウスバハギ	165	28	大主体	↗↗
		6	イサキ	157	26	特大主体	↗↗

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘